

防災に関するお問い合わせは
市民防災係 ☎861-1102

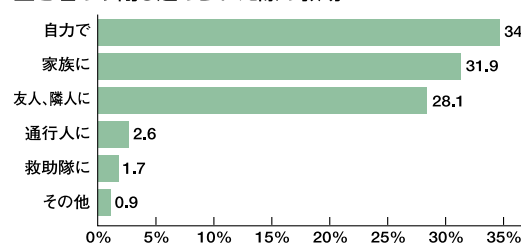
災害に強い那覇市をつくらう!



地域みんなで防災意識を高めよう



生き埋めや閉じ込められた際の救助



(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より

この図は、火災発生地域の市民を対象に、平成7年10月2月に実施したアンケート調査をもとに、生き埋めや閉じ込められた人の救助について、誰に救助されたかを示したものです。救助された約95%が自力または家族や隣人によって救助され、救助隊に助けられたのは、わずか1.7%です。

このことから、消防や行政などの公共機関が、災害発生直後に多くの被災者に対して迅速に対応することは非常に困難で、発生直後の人命救助や初期消火は、近隣の住民のみなさんの協力に負うところが大きいことが分かります。

自分たちのまちは、自分で守る



「自主防災組織」をつくらう

災害時には、さまざまな被害が同時に多発し、消防や警察、行政などの防災関係機関の救助活動が遅れるなど、十分な活動が制限されてしまいます。そこで、地域のみなさんが協力しあい、初期消火や被災者の救出などを行うことが求められています。これらの活動を進めていくには、防災活動に参加し、一人ひとりの役割を分担しなければいけません。そのためにも、地域で防災組織をつくる必要があります。

「自主防災組織」とは

地域住民のみなさんが「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯感に基づいて自発的につくる防災組織です。日常の活動には、防災訓練や防災知識の啓発、防災巡視、必要な物資や機材の共同購入などを行います。災害時には、初期消火、住民の避難誘導、負傷者の救出・救護、給食・給水のほか、危険区域の巡視、市役所や消防署などの公的防災機関との緊急連絡も行います。



那覇市の「自主防災組織」の状況

那覇市においては、平成16年11月1日現在、銘苅新都心自治会の1団体が結成しているのみです。総務省消防庁が発行する「自主防災組織

子どもたちの防災意識の向上と、秋の火災予防運動の一環として市内の小中学生を対象に毎年、防火ポスターを公募しています。今年は、11月5日(金)、琉球ジャスコ那覇店で、公募作品の展示と表彰式が行われました。みごと最優秀賞を受賞した作品は1年間、市の防災防災啓発の推進ポスターとして活用されます。



中学生の部 最優秀賞
城北中学校3年 我那覇元康さん

小学生の部 最優秀賞
安謝小学校4年 儀間彩絵さん

秋から冬にかけて、空気が乾燥し火災が起きやすい季節です。市では、この時期、防火・防災に関する訓練を行っています。暮らしの中で、防火・防災の意識を高めましょう。



初期消火活動にあたる銘苅新都心自治会と女性防火クラブのみなさん



10月24日(日)に、新都心の天久公園と若狭市営住宅で「総合防災訓練」を行いました。震度5強の地震を想定し、自治会や女性防火クラブ、市医師会、航空・海上・陸上自衛隊や県警などあわせて29団体の関係機関、約540名が訓練に参加しました。



11月5日(金)西消防署を見学に来たチロリン幼児園の子どもたち。消防車の説明を聞きながら「すこ〜い!」と何度もくり返していました

自主防災組織の主な都道府県別組織率表

主な都道府県	市町村数	組織率
北海道	212	35.7%
新潟県	111	22.7%
東京都	62	75.3%
大阪府	44	58.3%
兵庫県	88	92.9%
福岡県	96	37.8%
宮崎県	44	59.6%
沖縄県	52	5.0%

全国平均 61.3%
総務省消防庁「自主防災組織の手引き」より

「手引き」では、平成15年4月1日現在、全国の組織率は61.3%(全国の総世帯数に対する組織されている地域の世帯数の割合)となっており、沖縄県では5.0%と、かなり低い状況です。今後、市民のみなさんが安全なまちづくりに積極的に取り組めるよう、自主防災組織の結成を推進していきます。

「自主防災組織をつくるには」



自主防災組織は、地域の住民のみなさんが協力して自発的に結成するものです。地域に合った方法で考えてみましょう。

①すでに地域にある組織を活用する

自治会や通い会、青年会など、すでに地域に存在する住民組織を活用して、防災活動を展開していく方法。
手順
既存組織(自治会など)の会議や総会で自主防災組織の必要性を検討し、結成の承認を受けて、結成・活動の開始となります。
組織のタイプ
1. 自治会役員が自主防災組織の役員も兼務する。
2. 自治会長の下の役員に自主防災組織の部門をつくる。
3. 自治会とは別に、全く別の組織をつくる。
(ただし、常に自治会との連携を図る必要がある)

②新たに組織をつくる

自治会や通い会などの地域住民組織がなく、あっても自主防災活動を行うまでの規模や活動面での条件が合わず、新たに結成する方法。
手順
新たに組織を立ち上げるため、地域防災に関する資料を収集し、災害が発生した場合の地域の特徴を把握するなど、勉強が必要です。
地域内で同じ考えを持つ人たちと話し合い、多くの住民の参加を呼びかけ、結成・活動の開始となります。

組織での役割分担を考えよう



活動をしていくには、自主防災活動に参加する構成員一人ひとりの役割を分担する必要があります。その一例を紹介いたします。それぞれの地域にあった役割を考えてみましょう。

消火班

● 出火防止の啓発や危険物の保管・管理方法などの呼びかけ
● 消火用水の確保、街頭設置消火器の点検
● 初期消火訓練の実施
● 災害時 出火防止と初期消火活動を行い、消防機関に協力をする。

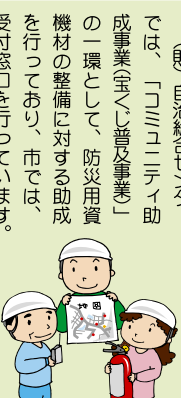
避難誘導班

● 一時集合場所、避難場所への経路の確認
● 危険場所(がけ、ブロック塀など)の確認
● 避難誘導の訓練
● 災害時 避難場所、経路の安全確認と危険場所の表示を行い、避難誘導とともに避難場所の秩序維持に努める。また、市役所などの公的防災機関と連絡をとり、情報伝達をする



「自主防災組織の知っとく情報」

「ミニミニ助成事業」を活用しよう!



「ミニミニ助成事業」は、自主防災組織や市町村が、防災活動に直接資するものとして、防災用資機材の整備に対する助成を行っています。市では、受付窓口を行っています。

自主防災組織や市町村が、防災活動に直接資するものとして、防災用資機材の整備に対する助成を行っています。市では、受付窓口を行っています。

この事業を活用するには、活動実績の報告が必要です。組織を結成して、規約や計画を立て、訓練や地域の防災意識を高めるなどの活動が重要なポイントです。ただし、各年度において助成する団体の件数に制限があります。ご了承ください。

「自主防災組織をつくるには」

お問い合わせ

市消防本部(銘苅)では、応急手当や防火講話などの講習会を実施しています。

講座名	内容	申込み先
消防本部	普通救命講習 観察要領、心肺蘇生法、止血法(講習時間 3時間)	消防本部警防課 ☎867-0911
	上級救命講習 観察要領、心肺蘇生法、止血法(講習時間 8時間・年1回9月頃実施)	消防本部警防課 ☎867-0911
出前講座	防火講和 家庭での防火対策などについてお話しします	消防本部予防課 ☎867-0212
	自主防災組織について 一般応急手当て講習会	消防本部警防課 ☎867-0911 または最寄の消防署
	消防署見学 消防署のしくみと見学	

救出・救護班

● 地域内のお年寄りや乳幼児、病人などの確認
● 応急医療品などの資機材を備える
● 救出・救護訓練を行う(※応急手当などを学ぶ)
● 災害時 負傷者を把握し、救出活動・救急処置を行い、負傷者を救護所などに搬送する。お年寄りや乳幼児、病人などの安全確保。

情報班

● 地震など地域に起こりうる災害について、正しい知識の普及を図る
● 防災に関する映画会や講演会を開催する
● 地域防災マップを作成し、地域防災意識を高める

災害時

● 巡回広報、情報収集・伝達訓練を行う
● 市役所などの公的防災機関から発表される災害情報を地域住民に広報し、緊急連絡を行い、被害状況や必要な情報を把握する

給食・給水班

● 食料、飲料水などの備えを呼びかける
● 必要な資機材の確保と点検
● 炊き出しや給水訓練
● 災害時 必要に応じて炊き出しを行い、食料や応急物資の調達、配分を行う。

災害時

※資機材・応急手当については、この紙面の右側の「知っとく情報」を参照ください。

そのほか、「自主防災組織」を運営するためには、規約をついたり活動計画を立てたりすることが必要です。その他、詳しいお問い合わせについては、市民防災係まで、お問い合わせください。(市民防災係 ☎861-1102)

10月の「こころのパネル展」で展示した「こころの癒される言葉」人気ベスト1:『「寒いね…」と話しかければ、「寒いね…」と答える人のいるあたたかさ(佐 万智)』

「こころの癒される言葉」コーナーのご感想を下記までお寄せ下さい。
健康推進課: Eメール(h-kenko001@neo.city.naha.okinawa.jp)